

2016年2月吉日



味覚の相違が招く コミュニケーション不和

—味覚の違いから、夫婦間でのトラブルに発展—

最多「**43.2%**」(20代・妻)

【2016年 夫婦間での味覚意識に関する調査】

一般社団法人味覚カウンセラー協会(東京都中央区、代表理事：齊藤 泰斗)は、結婚している20代～50代の男女800人を対象に、『夫婦間での味覚意識に関する調査』(インターネット調査)を実施しました。

調査概要

- 調査対象 : 全国の結婚している男女(20代から50代の各世代×男女各100名)
- 有効回答数 : 800サンプル
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査期間 : 2016年2月2日(火)～2月3日(水)

調査背景

昨年から今年にかけて、Twitter やFacebookといった、ソーシャルメディアの広がりとともに、「食事のことで主人とケンカした」「嫁の作る料理の味が薄すぎる」等の投稿が多く目につくようになりました。そこで、20代から50代までの夫婦に対し、「夫婦間での味覚意識に関する調査」を行いました。

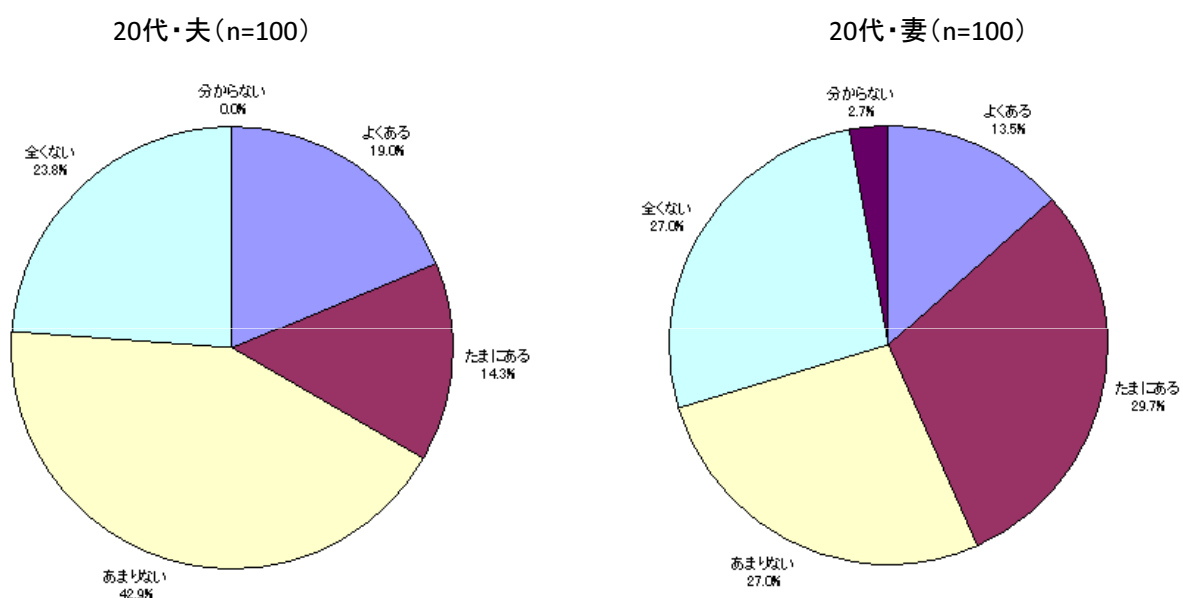
調査結果サマリー

- “味覚の違い“から、夫婦間での※トラブルに発展したことがあると答えたのが最も多かったのは、「43.2%」(20代・妻)。
- 男性では、「34.0%」(40代・夫) が最多。「23.6%」(50代・夫)が最少。
- 女性では、「43.2%」(20代・妻) が最多。「25.7%」(40代・妻)が最少。
- 20代が、夫33.3%、妻43.2%と、ポイント差 9.9 と最多。
50代が、夫23.6%、妻26.0%と、ポイント差 2.4 と最少。

※トラブルに発展したことがある=「よくある」+「たまにある」の合計

【 20代 】

Q1.お互いの「味覚の違い」から、夫婦間でのトラブルに発展したことがありますか？

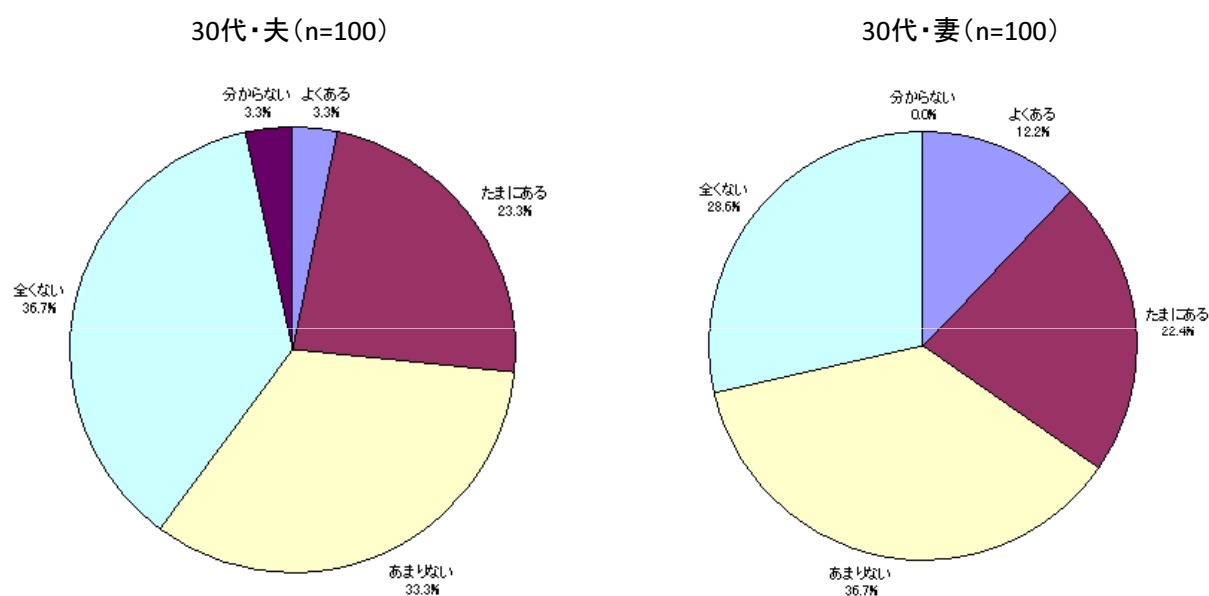


Q2.お互いの「味覚の違い」から、トラブルになった時のことを、教えてくださいませんか？

夫	妻
<ul style="list-style-type: none"> ・嫁は肉の脂などが嫌いなので、夕飯の献立を提案すると、ほぼ否定される ・濃い味が好きな私の味覚にあった味付けができないことに対して口論となった。 ・辛いのが好きな自分と嫌いな嫁で食べるものが違って食料品が高くつく 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供がいるので薄味にしているのに、旦那に、濃い味にしろと。お前中心ではないと言ってあげました。 ・自分なりの味付けをしたら、薄いと言って醤油やマヨネーズなどをかけて全く違う味のものにされた。 ・旦那の体を考えたカレーをまずいといわれて一口たべていないといわれて喧嘩になった。

【 30代 】

Q1.お互いの「味覚の違い」から、夫婦間でのトラブルに発展したことがありますか？

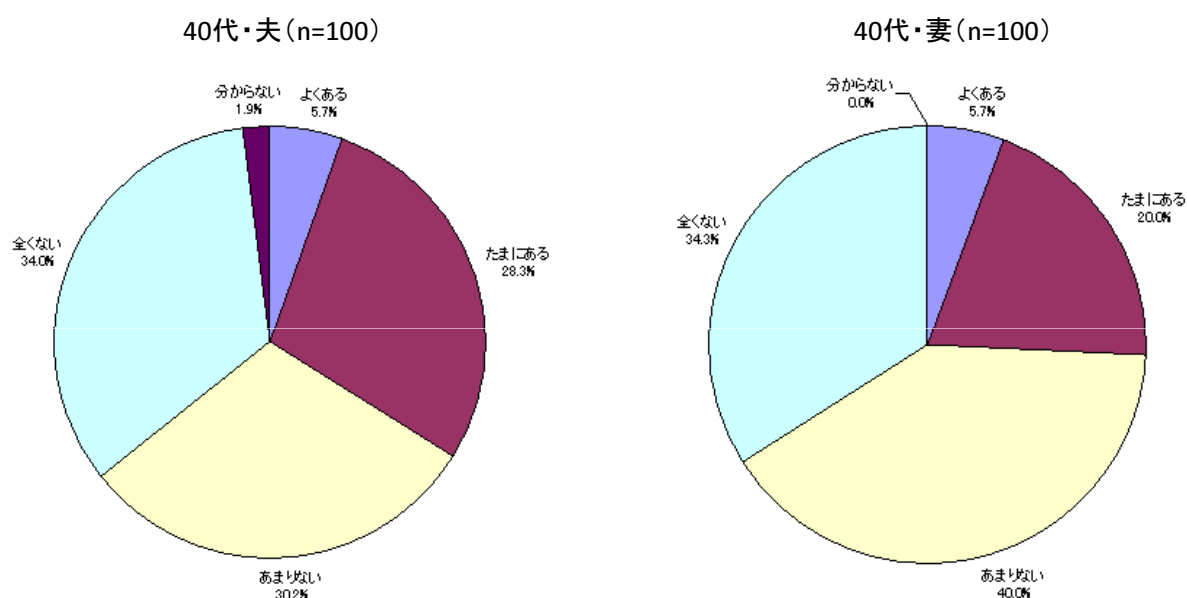


Q2.お互いの「味覚の違い」から、トラブルになった時のことを、教えてくださいませんか？

夫	妻
<ul style="list-style-type: none"> ・豆乳鍋が苦手で、揉めました。 ・味噌汁の味の濃さが合わない。 ・カレーの辛さがねえ…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の料理は濃いというのに、夫はマクドナルドやラーメンをよく食べるのが腑に落ちない。 ・旦那の親が味覚オンチで、卵焼きに痺れるくらいに塩を入れていたり、ガッツリ七味や胡椒をかけていたりしています。 ・作ったご飯に最初から七味やタバスコなど調味料をかけて食べることに腹を立てたことがある

【 40代 】

Q1.お互いの「味覚の違い」から、夫婦間でのトラブルに発展したことがありますか？

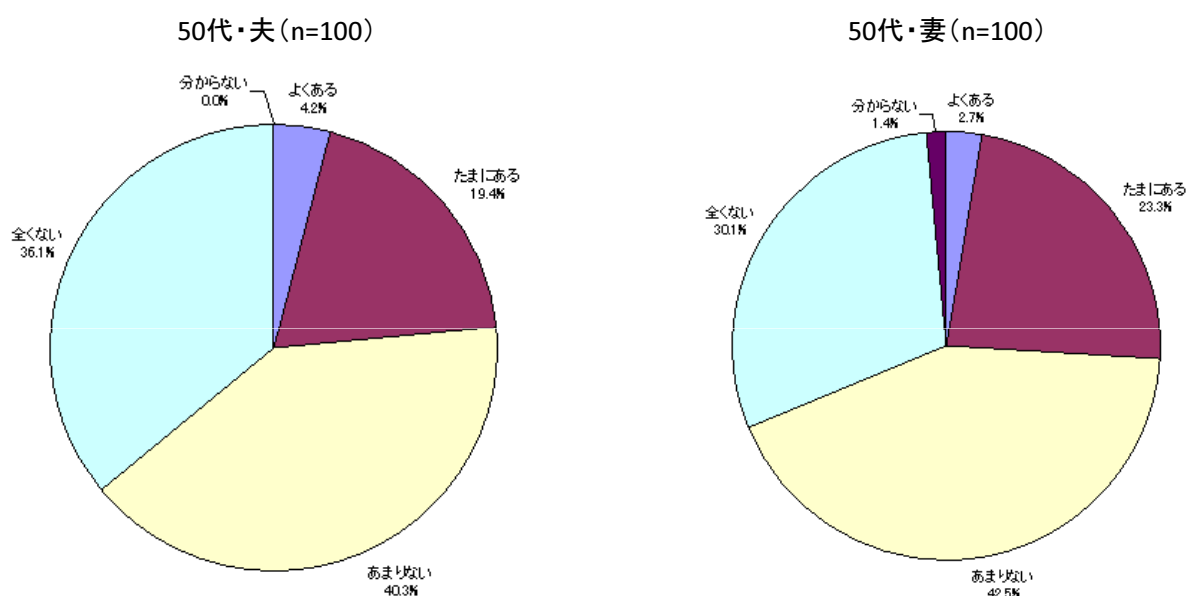


Q2.お互いの「味覚の違い」から、トラブルになった時のことを、教えてくださいませんか？

夫	妻
<ul style="list-style-type: none"> ・外食でいつも意見が分かれる。 ・全く味のしないパスタ料理が出てきて調味料をふんだんにかけたら泣かれた。 ・俺は濃い味が好み 嫁は薄味が好み 	<ul style="list-style-type: none"> ・薄味に対して「味がない」との意見 ・実家の地域なのか私は薄味、旦那が濃い味。もっと醤油を入れろと言われてました。 ・私がマヨネーズ味が好きでマヨサラダを出しすぎて怒られた。

【 50代 】

Q1.お互いの「味覚の違い」から、夫婦間でのトラブルに発展したことがありますか？



Q2.お互いの「味覚の違い」から、トラブルになった時のことを、教えてくださいませんか？

夫	妻
<ul style="list-style-type: none"> ・東海地方出身の夫と関西地方出身の妻、どうしても薄味がわからなかった ・食べに行きたい物が違い過ぎる。何を食べたいか聞かれるがほぼ却下されるので何でも良いと答えています。 ・絶対相手の方の味覚がおかしいということになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・夫は、塩分を多くとりたがり、なんにでも塩や醤油をたっぷりかけてしまうので、とても健康に悪いと思う。 ・主人は一切の甘いものが嫌いなので私が味付けに少しみりんを入れただけで甘いと言って食べてくれないのでケンカになりました。 ・夫は濃い味、レトルトやインスタント食品の味を好むので、薄味でちゃんと出汁を取っても、醤油をかけたりして、料理の味を台無しにする。



味覚カウンセラーとは、私たちの生活に密接に関わる「味覚」の観点で、日々の食生活をはじめとしたライフスタイル全般を多角的に捉え、本来のあるべき姿へ近づくための道筋を示すことのできる、味覚のプロフェッショナルです。

<http://www.mikaku-counsellor.com/>

<http://www.mikaku-counsellor.info/>

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 味覚カウンセラー協会

TEL :03-5497-5066 E-mail : mikaku.counsellor@gmail.com